

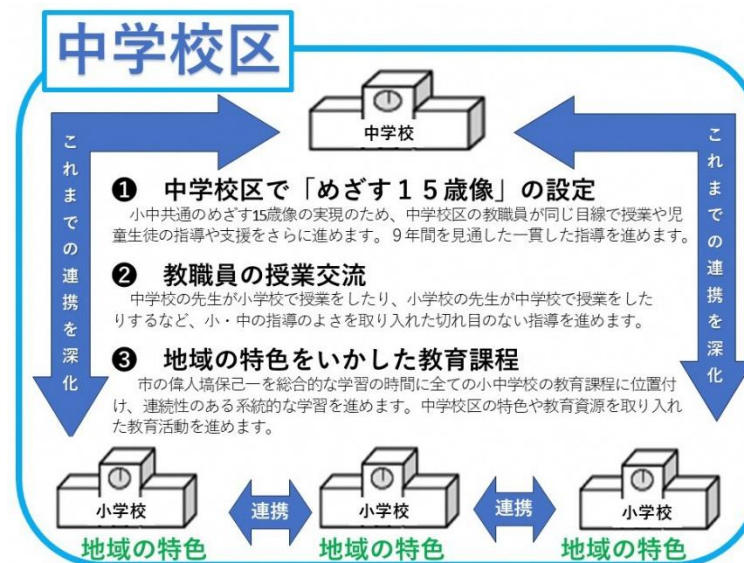
小中一貫教育の推進

「ふるさと本庄とともに、未来をひらく15歳」

令和8年度 本庄市教育委員会

1 これまでの経緯

- 令和5年度
 - ・小中一貫教育の推進に向けた各種調査の実施
- 令和6年度(準備年度)
 - ・本庄市 めざす15歳像の策定
 - ・総合的な学習の時間 指導計画の作成
- 令和7年度(実施元年)
 - ・本庄市小中一貫教育本格開始
 - ・中学校区毎に めざす15歳像の策定
 - ・教員の授業交流の開始
 - ・総合的な学習の時間
 - 「埴保己一先生に学ぶ」「地域に学ぶ」
 - 「清掃に学ぶ」開始



2 本年度以降の取組

	令和7年度	令和8年度以降
①中学校区で「めざす15歳像」の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校区で設定できた。 ・リーフレットや各学校のHP等で知らせる 	<input type="checkbox"/> めざす15歳像の周知 <input type="checkbox"/> めざす15歳の実現の方策を中学校区で検討 <ul style="list-style-type: none"> ・小中の教員の交流 ・学校行事の共同実施 ・学習交流 ・学習発表会の実施 等々
②教職員の授業交流の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校区の小中の教員が相互に授業を行う。中学校区によって、その回数や内容や方法は様々であった。 	<input type="checkbox"/> 授業の実施をさらに進める(量と質の充実) <ul style="list-style-type: none"> ・めざす15歳像の実現のため、中学校区の児童生徒の実情を捉えた、教科や指導方法の選定

	<ul style="list-style-type: none"> ・小中お互いを理解し、教員の意識の壁を取払うことの必要性がわかった。 △日課の調整。時期の調整。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業研究会として実施 ・帯時間での実施 □小中学校互いの指導技術の専門性を生かした取組 □日課表の部分的な統一(例：1, 3, 5校時の開始時刻を揃える等)
③地域の特色をいかした教育課程	<ul style="list-style-type: none"> ・市で統一した 総合的な学習の時間を開始した。オンラインを中心に小と中、小と小、中と中の学習交流ができた。 △探究的な学びへ 指導計画の修正 △日程の調整 △教科領域との関連 	<ul style="list-style-type: none"> 【総合的な学習の時間】 ・総合的な学習の時間の教育課程を確実に実施する。(量と質) ・中学校区で連絡を密に取り、学習活動の質を高める。 →授業参観を実施 ・小中、小小、中中の交流の内容をブラッシュアップする。 ・系統的な指導計画を作成(市で統一した単元以外) 【教科領域】 ・特別活動を9年間を見通した系統性のある指導にする。

3 本年度のスケジュール

	R8										
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
[推進委員会]	●			●						●	
[教育課程部会]		●				●			●		
[小中一貫教育だより]		児			南			西			東
[探究的な学習] 研究校 授業検討会、授業研究会への参加											

東：東中校区
西：西中校区
南：南中校区
児：児玉中校区

[推進委員会]：各校長、小中一貫担当、市教委担当にて取組推進を検討

[教育課程部会]：「総合的な学習の時間」の指導内容の改善、教科領域の系統的な指導計画の検討

[小中一貫教育だより]：小中一貫教育だよりの発行担当中学校区

4 組織

